

N T T 労 組 ・ 退 職 者 の 会 大 阪 支 部 協 会 報

2004-6号(通算40号) 2005年9月23日

提河泉

NTT 労組退職者の会・大阪支部協議会
発行責任者 鷲谷 憲
編集責任者 小林 保
〒553-0003 大阪府福島区福島3丁目1-73 コミュニティプラザ大阪内
Tel. (06)6451-8100
Fax. (06)6344-9382
<http://business3.plala.or.jp/nttai/>

安心・信頼・生きがい、
あふれる21世紀、みんなと共に

紙 面 よ り

全電通広島被爆者体験記(2) ……2頁
八王子市立館小学校からの礼状…2頁
大阪支部協定期総会議案(1) ……3頁
大阪支部協定期総会議案(2) ……4頁
各種イベント案内……………5頁
大阪総支部だよりの……………5頁
平和モニメント完成……………5頁
各ブロックだよりの……………6頁

熱かったですよー！

川崎孝子(泉州)

六十年前の此の日と同じ夏の太陽は照り付けていた。元安川の水面は何も無かったかの様に水を満々と湛えていた。熱かったですよー、無念であつたでしょう。胸の奥で手を合わせ。老い先短いが命ある限り叫ぼう。

平和の鐘の音とともに

上江孝子(泉州)

会場の人の多さにびっくりしました。鐘の音と共に、一分間の黙祷ご冥福をお祈りしました。その後折り続けた千羽鶴を献鶴できたこと。又被爆者の体験談を聞き、再び戦争はあつてはならない。

長崎平和フォーラムに参加して

加戸幸男(河内)

構成詩「風化に抗して」歌と朗読そして寸劇、スライドなどにより「平和の祈り」を込めての公演は良かったし感動もした。しかし、私達の若い頃の運動は、もともつたので少し物足りない感じがした。

千羽鶴に願いをこめて

嘉戸栄子(泉州)

六十年は人間なら還暦です。私は原爆で亡くなった人達の思いを受け止め、平和への誓いを新たにしようとしたに違いないと感じた。私たちは原爆の犠牲になった子供達から平和を祈ってきました。

核の恐さを世界に！

大串千工(北摂)

アメリカの高校で、原爆投下に対するデイスカッションが放映され、戦争終結のため正しい決断との意見が多く驚いた。被害者、加害者の立場で片付けてはいけない核の怖さを世界に発信し続けるべきと強く感じた。広島参加でした。

八月五日・六日の広島献鶴祭ボランティアツアーの参加者からの一言です。紙面の関係で〇〇字に制限したので苦労されたと思います。

被爆証言に感銘した

太口昭二(河内)

今年初めて平和祈念式典に参加し、昨年より一万人多い五万五千人が平和記念公園で被爆者の心を受け継ぎ核兵器廃絶に向けて平和運動を起すことを誓った。午後は広島県支部協議会の交流会に参加、松本会長下島連三さんより被爆体験の話があり感銘した。

胸がこみ上げ目頭があつくなった

坂田平治(泉州)

式典会場に入つた時の参加者の表情と雰囲気、会場内で折鶴を見ていた被爆者家族が帰る時に「ありがとうございます」とお礼の言葉を言われた時、また、被爆者の話を聞き、悲しさを身近に感じなんとも云えない気持ちになった時など、あらためて不戦を誓いたい。

被爆六〇年の広島式典に参加

小山章(北摂)

今回初めて広島六〇年式典に参加。廿日市市長の原爆投下の体験談、そして翌日、平和祈念式に出席、千羽鶴の献鶴を行い、広島退職者の会との交流会でも体験談を聞き、身体が震え、目頭が熱くなりました。

不戦の誓い

古布亮(なにわ)

JR青春キップで約5時間かけて広島に。無差別で非人道的な原爆は決して許せない「不戦の誓い」を再確認する。米国のイラク戦争は自国の論理を世界に拡大し、その枠外者は容赦しないエゴであり、また日本の「戦争を準備する危機」にも反対しなければ……。

空に舞う鳩に託して

小林保(河内)

祈念の黙祷を終わつて、高く青い空を見上げました。あの日、あの刻この空に強烈な光りと熱がと、思い巡らし平和の今の感慨を新たにしました。準備に携わつた一人として、参加者の協力と広島支部協に感謝します。

ノーマス広島、ノーマス長崎と……。

原爆の日と思う

中井千恵(泉州)

二〇〇五原爆の日、広島はとても熱かった。六十年前太陽二個分の火の玉が落ちた。テレビ、本で悲惨な状態を聞き知っていたが、生の声を聞きグット込み上げた。私達も平和を願う気持ちを一生涯持ちたい。

戦争はイヤだ！

辻蒼子(泉州)

戦争はイヤだ。あの夏から六十年、広島原爆の投下の恐ろしさを知った。核兵器は絶対になくし世界平和を祈りたい。

の恐ろしさを忘れることなく、平和を願つて折り鶴を折り続けたい。



犠牲の上に、私達が……

武田泰子(河内)

「献水」とマイクの声、何故か涙があふれ、胸が苦しくなつた。八月六日広島に原爆が投下され灼熱の地獄を！今私達が安穏と暮らしているのも、広島や長崎の犠牲の上に立つての事を忘れてはならないのでは、と思います。

平和を願つて

田伏ノブ子(河内)

広島に原爆が投下されてから六十十年にもなりました。一瞬にして、ほとんどの人々の命を奪い、今、まだ闘病生活をおくられている人々を想い、佐々木楨子さんの「千羽鶴の塔」を前にして胸が熱く痛かつた。戦争

立場をかえてみて

その答えをみつけない！

廣道襄(泉州)

「胎児被爆」現在五九歳で知能指数二歳、懸命に生きている。もし、自分やわが子が被爆していたら、現代や未来に何を求め何を訴えるだろうか。「継続する」ことは切羽詰まつた時以外は難しい。立場を換えて原点に戻ろう！

原爆投下日、祈る平和

林良次(泉州)

八・五早朝大阪駅に集合。一行は新快速を乗り継ぎ広島へ出発。私達の目的は原爆被災者の鎮魂と廃止、世界平和を祈念する事であつた。千羽鶴を楨子像に納め永遠の平和を念じ、原爆被災者の生きた証言を聞き戦争廃止を願つた。

青春キップで広島へ

堀江武(泉州)

七十歳の節目に青春18きっぷで被爆六十周年広島市原爆死没者慰霊式平和祈念式典に参加、又、被爆体験証言の方の話を直に聞き身の締まる思いでした。平和記念資料館で被害者の方の絵画を拝見し有意義な一日ができました。ありがと。

生まれて初めての広島へ

南部キミ子(泉州)

折鶴献鶴で、式典に参加させて頂き、初めて、全国規模のボランティア活動と生身の体験者による各講演(あえて、語り部と云わせて頂く)に、深い感動と肝銘を受けました。この企画に、有難う！を心から申し上げます。

過ちは繰り返さない

中村しげ子(泉州)

被爆者の方々のお話はまさに地獄絵図！ヒロシマの人々の夢や希望「たった一発のそれもたった10秒で十万人以上の命を奪う」この言葉が私の脳裏に鮮明に残りました。この様な過ちは二度と繰り返さない様未来につないで行きたいと思っています。

行雲流水

残念でした。政権交代を今回こそと期待しましたが、郵政パフォーマンスにしてやられた感じです。医療制度の改悪につづく年金・税制改悪など退職者、高齢者に厳しい政策が予想されます。改悪阻止に共通の考えを持つ仲間と行動で連帯していきましょう。

総会議案を提案しています。ご検討をお願いします。今年は戦後六〇年の節目を意識して平和の問題を取り上げ行動しました。会報でも戦争中の体験、経歴を特集しました。その記事のカットはN T T 労組新聞のひろがり欄にも使用されました。青春18切符往復の広島献鶴平和ツアーに私も同行することができました。五時間程で広島へ、当日の核廃絶会議の様などを伝えるピースフォーラム、翌日の祈念式典、広島県支部協幹事との交流に参加しました。行程の途中では三回の乗換えになりましたが、時間の都合で小走りになつたりもしましたが疲れるようなこともなく過ぎました。防音壁もトンネルもなく車窓の風景を存分に楽しみました。広島でこのような青春切符の旅を「ロマン」ですねと評価されたことが印象に残ります。式典に参加の感想を全員がこの会報で発表しています。

今年も天候は異常です。多発の台風、集中豪雨など災害に対する予防にお互い注意しなくてはなりません。

今年の支部協レク一泊バスツアーは新穂高温泉から乗鞍へ行きます。頃は長月、時は重陽、所は山路と少し早い紅葉狩の秋を奥飛騨から山並みのスカイラインで楽しんできます。

この四〇号が年度の最終号になります。評価は如何でしたか。ご意見をお寄せ下さい。ご支援ご協力有り難うございました。編集担当次年度も校正もしっかりと内容の一層の充実を図ります。

眼が潤んだ被爆証言

福西輝男(泉州)

青春切符の利用と、原爆死没慰霊式・平和祈念式の参加は初めてのこと。短い時間であったが、中身の濃い交流ができた。体験者の、被爆証言を聞いて、眼が潤んできた。周囲をみれば、全員がそのように見えた。参加して良かった。今後交流を深め、続けて行くことを参加した一人として、協力したいとおもいます。

平和の願いこめ献鶴

藤井幸江(なにわ)

情報労連広島ピースフォーラム、N.T.T.労組退職者の会平和交流集会で、悲惨な戦争体験を被爆者本人から聞くことができ感銘しました。広島平和祈念式典参加後、仲間に折ってもらった折り鶴を「不戦の誓い」と、平和を願い献鶴を行いました。また若者多数参加に感動しました。

次世代への継承

佛原良澄(なにわ)

戦後六十年節目の年に広島ピースフォーラム、平和式典等に参加し、改めて原爆の恐ろしさを痛感した。四〇年後の戦後一〇〇年は孫達の世代で、戦争は繰り返してはならない、風化させてはならない旨を永遠に語り継いでいくよう願うものである……。

被爆者の 呻きに似たる
鐘の音に 捧げる黙祷
平和への誓い

前中良介(北摂)

あの日も今日のような炎天だろうと聞いています。節目の戦後六十年、被爆者の無念さを思う時、改めて平和のありがたさ、尊さが身に沁む貴重な一日となりました。

なぜ、核兵器があるのか

松田晴世(河内)

初めて平和祈念式典に参加して世界各国の人々が、これだけ平和を願っているのになぜ地球から核兵器が無くならないのか、戦争が今も行われているのか残念に思います。子供や孫の世が平和でありますよう

願います。

ヒロシマに対する「思い」

松田陽子(北摂)

被爆六十年に対する熱い気持ちが一瞬になったヒロシマの街、力強い何かを街から感じ圧倒された。この思いを世の中へ伝えていかなければならないと強く感じた、平和祈念式典への参加であり暑い一日間でした。

心に焼き付いたこの言葉

松山諠教(北摂)

「六〇年といえは永いと感じる人もおられるかもしれない、しかし、私たちはまたあの地獄の風景を思い出す日が来たのかという苦しみを六〇回迎えたということです。」私の心に焼き付く体験者の言葉でした。

手指の動くかぎり千羽鶴をー

丸山嘉子(泉州)

被爆者の方々の、今もなお苦しめられている姿を見聞きして平和の大切さを痛感します。子供達や孫達に話し、戦争のない世界の平和を願い、守って後世に伝えて行く様に！また、手指の動くかぎり千羽鶴を折り献鶴したいと思います。

全電通広島被爆者体験記②

原子雲の下に
生きつづけて (第一集)
より 転載

全電通広島被爆者
連絡協議会発行

原爆の下を生きのびて(一)

植野 ササ子

(昭和四六年十一月二九日没)

一九四五年八月七日の朝、アメリカのジャーナリスト、ウィリアム・シャイラー氏は、恐れにすくむような思いで二一ヨークタイムズの一面大見出しの活字を追っていたとか。

最初、原爆日本に投下される。

涙した今回

源勝子(泉州)

以前平和公園に行った時に比べ町が美しくなっているのにびっくり。何も考えず観光した日。この度は心に感ずるものがあり涙した。みんなぞ折った千羽鶴を原爆の子の像に供え、二度とこのような悲惨な戦争が無いよう祈りつつ広島を後に。

七五歳の私も青春18キップで

山田忠夫(泉州)

原爆投下を実際に体験した方の真実のままの話を聞き、原爆の恐ろしさを実感しました。平和を願う皆さんの千羽鶴の献鶴を出来たことを喜んでいきます。七五歳の私も青春18キップにて参加出来たことを喜んでいきます。

語り継ぐ、あの日を、

山本慶次郎(泉州)

被爆から六十年「原爆の日」の八月六日私は初めて「平和祈念式」に参列して改めて核兵器の恐ろしさを知った。この原爆の記憶を忘れることなくいつまでも語り継がれることを願っている。八月六日が終わればそれでおしまいではない！…

T.N.T.二万トンに匹敵。
つづいて社説。

科学における革命と、戦争における革命が日を同じくして起つた文明と人類は？ 人類は、人類の政治的思考にも革命が起る場合にのみ、生きのびることができる。だが、人類は、文明と破局との競走に勝ち得るほどの速度で成長できるであろうか。

ちょうどそのころ私は海のこちらヒロシマで火の旋風に追われ、泉邸(現在の縮景園裏岸)に追いつめられた幾千とも知れぬ負傷者と、焼けただれた死体の群れの中で、悪夢のような記憶をつなぎ合わせるのに懸命であった。このような声援も永くは続かな

世紀の怪物、核の時代は、こんなふうに私の身近かではじまったようだ。一九三一年世界に経済恐慌がひろまった年に勃発した満州事変は、三年を経て、満州国帝政の樹立をみるや、大日本帝国政府や軍部の介入は横暴をきわめたらしい。満州鉄道や満州電電あたりも、日本の支配下にあったであろうし、民間会社の多くも当地に支店をもっていたらしい。やがてそれは、中国人の抗日意識となり、三七年には盧溝橋事件となつて、支那事変は当然起るべくして起きたといえるのだから。

このころから戦時色は次第に強まり、中学一年で私たち女子も、一週間のうち六時間は軍事教練をうけた。銃の持ち方を教えられ、小隊の先頭で行進の指揮をとり号令もかけた。地声の大きさは、このころに培かれたものと思う。

三九年には、日・独・伊三国防共協定がむすばれて、ドイツのヒトラーはポーランドに侵入している。第二次世界大戦となつたのもこの年で、すでに大東亜戦争へのきざしはあったものといえよう。

四一年十二月八日の朝おきぬけにラジオから、軍艦マーチのリズムにのつて「大本営発表。帝国陸海軍は、今、八日未明太平洋上において、米英軍と戦闘状態に入れり」という宣戦を、満十八才のとまどいのなかで聞いた。

それが正か不正か、やみくもに参戦への道を走ることになり、音のない世界への道標になろうことを誰が予想できたであろう。

この年をおくり四二年をむかえたころは、つぎつぎと勝戦が報導され、その前奏曲軍艦マーチに有頂天になった。

やがて宇品に凱旋館が建ち、埠頭からは大軍団をのせた輸送船が、太平洋の各地へ毎日のように送りだされた。一枚の赤紙をもらつて往く人を、私もまた無批判に旗の波でおり、せつせと慰問袋に日用品や手紙をつめて声援をおくつた。

このような声援も永くは続かな

かつた。四三年をおくり四四年をおくるころには、報導の前奏曲は哀愁をこめた「海ゆかばのリズム」かわることがしばしばで、敵機は瀬戸の内海へもわがもの顔にやつてきた。警戒警報は昼となく夜となく発せられて睡眠不足、日用品や配給の食糧も次第に窮迫して、ヤミ食糧の工面に追われた。都市では、麦と大豆のぞうすが常食となり、やがてそれは、蕎麦のダンゴとなり糠ダンゴが食膳にもられるようになった。月に一度か二度か口にできる白米をいみじくも「銀めし」と名づけた。

こうした状態で運命の年、四五年をむかえたころは、駆り集められるものは軍部へ軍部へと取り立てられ、周辺に壮年の男性をみることはまれであった。中学一年以上の学徒は動員され学窓をあとに軍需工場に配属されていった。

早くから電信通信の重要性が説かれていたが、この年の六月には機構改正がきまり広島郵便局(被爆中心地の直下)の一分課であった電信課がひとまず現在の富国ビル内(被爆中心地より四百米東南)に移転して、八月一日広島電信局として発足した。これも例外ではなく応召者百二十名、海外従軍者十三名を送りだしていた。

在職者二百六十名のうち女子九十名、配達作業にも五名の女子が従事した。これに加えて動員をうけた本川小学校高等科の学童十三名を配達作業、祇園女学校の生徒二十名を通信、電話通信の補充、官練実習生(大学部)六名の応援をうけて総員約三百名で辛うじて中継局としての任を保っていた。

自動回線二印刷七回線あとは

人間の手でたたきだされるモールス符号の音響二重十三回線、電話通信で音響単信二十九回線、市内周辺に散在した郵便局からの送受信は宇品駅前を除いてほとんどが電話通信であった。

回線は常時輻そうした。一日の取扱平均二万八千通、そのうち最優先の取扱となる軍部の情報通信や防空通信は約二千通、千字を越える長文はさらに、一通の平均字数百八十字すべて複雑な手数を要した。一般公衆の電報はモールス現字紙をそのまま郵送したり使送したりで遅延また遅延、一日や二日の遅れは珍らしくない状態であった。それでいて民間からの苦情に手をやくといったような記憶がないのは、発信者も戦時下という一種のあきらめではなかつたろうか。

局長以下係長を含めて役職員約五十名の平均年令は四三・二三才、通信そ通の担い手は一・八・六才という若さであった。いく班にもわかれて義勇隊を編成し、空襲警報がでるたびに非番を問わず、男女の別を問わず出局して各自の持ち場についた午前一時二時の灯火管制下の闇の中を出局することもまれではなかつた。労働条件の向上が叫ばれる今時うそのようなはなしでもあろう。減私奉公、一億一心の合ことばのもとに、若い命は征つて海のもくずと消え、残つてカーキ色一色にその青春をかけた。

八月五日広島は銃後であつて戦場ではなかつた。

(次号会報に続く)

八王子市立 館小学校からの礼状メール届く

折鶴運動のホームページをみて東京都八王子市立館小学校から千羽鶴が送られてきましたので、広島へ持参しました。そのときの献鶴の写真をお送りしたところ、担当の須長先生より写真を教室に貼らしていただきますとお礼のメールが届きました。

告 示

NTT労組退職者の会大阪支部協議会会則第7条にもとづき、第8回定期総会を下記のとおり開催します。

1. 開催日 2005年10月22日(土)

2. 場 所 コミュニティープラザ大阪

3. 構 成 ① 各ブロック代議員

② (組織会員50名に1名)

4. 議 事 ① 各種挨拶

② 1年間の活動を振り返って

③ 2004年度会計決算報告

④ 2004年度会計監査報告

⑤ 2005年度活動方針(案)

⑥ 2005年度各種表彰

⑦ その他議案

⑧ 2005年9月23日

NTT労組退職者の会大阪支部協議会

会 長 谷 鷲

大阪支部協議会
定期総会議案骨子

別記告示のようにNTT労組退職者の会大阪支部協議会の第8回定期総会を一〇月二二日に開催致します。総会には各ブロックからの代議員(組織会員五〇名に一名)と支部協役員で構成され、総会議案を討議し、活動方針・予算案等を決定します。

とはいえ、組織形態の現状から代議員が会員の声を聞き、反映するという場をもてない状態ではあり、一方的周知の形とはなりますが、以下総会議案の骨子についておしらせしますので、機会をとらえてブロック委員や、支部協役員に意見を寄せてもらえればと思います。

提案にあたって

『安心。信頼。生きがいあふれる二一世紀。みんなと共に!』が私たちのシンボル・フレーズです。「ゆとり」のある福祉社会を求めます。

二〇〇四年度の大阪支部協議会の活動は、七回総会で決定された具体的各課題に取り組んできました。その推移は着実に成果として今後の発展に引き継がれるものと信じます。社会保障制度の改悪阻止をはじめ政治に関わる諸活動の取り組みに努めました。郵政民営化法案参議院否決による衆議院解散、総選挙の報は新しい政治の夜明けと信じたいものです。国民負担の増大を図り、退職者、高齢者

への経済的圧迫の政策を強行する為政者に厳しい指弾を迫るものです。民主党の争点は年金改革としています。私たちの願いです。精一杯の応援をします。

アピール21の取り組みも課題です。私たちの支持する政治家の活動を支援し、NTT労組退職者の会大阪支部協議会を取り巻く政治課題の前進のためにも積極的参加の運動を展開し、現・退一致の取り組みを進めます。支部協の今後目指す一つに生協共済などの口座振替があります。今回は、かなり煩雑な共済更新の作業になりましたが、未納の処理を巡っても価値あるものとなります。

退職者を巡る年金、社会保障など福祉制度の改革に取り組む連合

大阪高退会の活動に協力します。生活に関わるすべてが負担増になっている現状にあります。行動の要請には常に応える体制にあります。

戦後六〇年の節目を迎えて、戦争の悲惨さ、厳しさ、被爆の実態を風化させてはならない、さらに平和運動に具体的に行動をの想いが、千羽鶴を携えて、青春18切符三〇人の広島平和献納ツアーの感激になりました。学習会も熱心に行われ、平和意識の高揚を目指しました。

会員の親睦と交流を図る活動は順調に推移しています。多くのイベントも多数の会員の参加があり、評価を得ることができました。さらに創意工夫を加え、内容の多様化も図りたいところです。各ブロックの活動状況は活発で強化されてきました。課題を探究しながら新たな挑戦を期待します。

一年間の活動を振り返って

組織・地域ブロックの取組

(1) 4ブロックの地域を基盤とした活動は、地域事情なども含め様々な情勢により、それぞれの特色も出しながら経過し各実績をあげてきました。会報の各号ブロック欄に経過が報告されていますが、ブロック企画のイベントにも特徴がみられます。さらに相互の連携も十分であり、総合的に支部協活動を支えるものとなっています。

(2) 行政区画変更に伴う、美原町の河内ブロックから泉州ブロックへの所属変更については、それぞれのブロック担当者の協力により、実行されました。

会員拡大の取組

NTT労組大阪グループ連絡協議会の支援を得ながら通年的に取り組みました。3月の退職予定者の説明会には大阪総支部管内、大阪グループ連絡協議会に所属する企業本部組織の退職予定者の参加

により実施され、支部協も出席し、資料も携えて説明を行い、相応の理解を得られたところです。今回は企業本部分会、部会対象者の加もあり、拡大の成果がみられました。継続組合員制度の発足によりさらに魅力ある組織作りを図るとともに一層の会員拡大に努めます。

組織運営活性化の取組

(1) 幹事会について

今年度も毎月定例日を決め、幹事会を開催し、支部協運営を図ってきました。報告、協議事項では各幹事の意見を十分に求め、各ブロックの報告も例会毎に行い、相互理解を図ってきました。

(2) 常駐体制について

週五日の常駐体制は引き続き実施されています。各担当者は、会員からの問い合わせなど複雑な応対に対処して、信頼関係にも大きく寄与しています。また多忙時の各ブロックの応援も即応体制が整っています。共済加入促進時の前に意識統一を図る常駐者相互の打ち合わせ会を行いました。

(3) 事務局会議について

幹事会にのぞむ事務局の意見集約、幹事会議案の調整等を目的に月例幹事会事前で開催してきました。

(4) 三役会議について

事案の内容を勘案し、三役会議を開催してきました。今年度は年度計画など3回行いました。

(5) ブロック委員全体集会について

今年度は開催を見送りました。

(6) 各担当者会議について

レク、学習会、福祉、政治・平和担当者会議などを開催し、各担当部の細部の計画、行動について打ち合わせを行いました。

コミュニケーション充実の取組

(1) 会報の発行

会報「摂河泉OB」は年間六回発行しました。支部協と全会員との唯一の交流の場と位置付けてい

ます。会員の広場、行事の周知、ブロック便りなどは固定欄として親しまれています。時期に即応した内容に心掛け、必要に応じて増頁を行ってきました。

(2) 訪問活動について

具体的には実施できませんでした。しかし会報の手配りを実施している、河内、泉州ブロックでは地域を拡大するとともに訪問時の対応を大切に、情報把握に努めました。

(3) イベントについて

各ブロック企画による多彩なイベントが実施され、それぞれ独自の特色をもち成功でした。細部については別記のブロック報告を参照します。人気の高いイベントは、バスの増車にできる程の大勢の参加がありました。支部協企画のウォークラリーは5月に定着した行事となっています。期間内のスタンプラリーも予定どおり行われました。また恒例の一泊バスツアーは「新穂高温泉と雲上の乗鞍」で実施することとしました。

(4) サークル活動について

今年もリーダーの熱意、参加会員の協力は変わらず活動は活発です。今年度は「民謡踊り」サークルが新加盟しました。民謡踊りサークルは積極的に他の催しに参加し、オリジナルの名称の入ったハッピーで、退職者の会をアピールしています。また大正琴サークルや民謡踊りサークルの「愛の家」訪問などボランティア活動も高い評価を受けています。

(5) JASSSの活動について

支部協会長がJASSS関西の運営委員として活躍中です。組織として応援してきました。グラウンドゴルフ、島之内寄席など協力してきました。

(6) IT関係について(ホームページ等について) ホームページ開設二年目を迎え、利用件数も六千に近いカウントを示しています。このことは、各ブロックのパソコン担当委員および支部役員の努力

による「活動にマッチした更新作業」が効を奏してきたものと高く評価するところです。また、支部掲示板も新設し会員との交流に役立てばと期待しています。パソコン教室は、ブロック委員までを対象に「現退一致」で開催しており、支部協活動の充実のためにも継続していくこととします。

学習交流会について

(1) いきいき講座について支部協の代表的イベントの位置付けは変わりません。予定どおり八回多彩な講師により開催しました。一回の屋外学習を実施しましたがそれぞれ環境問題などにさらに新しい視野を広げることを体験しました。六月の講座は近畿ブロック会議の日程に併せて実施し、他の支部協の会員の参加もあり、交流を図りました。

(2) カルチャー教室について

マジック、水墨画、男の料理を開催してきました。それぞれ個性のある講師を迎えて楽しい教室となりました。

ウォークラリーの取組

5月恒例のイベントです。今年も多くの方々が健康を意識して参加されました。記録を送付していただいた方は140名でしたが寄せられる感想文の中に歩く楽しさの思いが熱く述べられていてイベントに対する期待の大きさが感じられます。期間内のスタンプラリーは「服部緑地公園」で行われました。

福祉活動の取組

ボランティア活動に積極的に取り組みました。

(1) 「全電通社会福祉事業団」への「愛の家カンパ」を今年も実施しました。募金協力は六二六名、九五万九千円となり事業団に寄贈しました。

(2) 泉州ブロックの「愛の家に対する恒常的支援活動に敬意を表し

ます。今年度も定例日を決めて多くのボランティア参加者が協力しています。河内ブロックが支援する河内長野・富田林のボランティア組織「みなみかわち」も着実に成果をあげています。

(3) 使用済み切手、使用済みカード、空き缶のタグ、牛乳パックの収集等の福祉関係の 캄パ活動の取り組みは引き続き実施しています。さらに支部協の「愛の家」に送付する寄贈品収集ボックスは常備として準備してきました。日常品など多くが寄せられました。

地域活動について

(1) 地域議員との交流について河内、泉州、なにわの各ブロックはそれぞれの地域選出の議員と学習会、交流会を通して地域行政との関わりをもつように取り組んでいます。

(2) ブロックの地域活動への参画は連合大阪高退会東大阪地協の中で取り組みを行っています。また泉州ブロックも「愛の家」の運動をとおして地域との関わりを強くしています。

生活改善の取組

(1) 社会保障制度の充実改善に向けて、NTT労組、連合高退会とともにその指導、要請に応じて活動してきました。

(2) 社会保障に関わる諸課題については、常にその推移を見つめ、情報収集に努めてきました。

(3) 「生きがいワーカーズ」活動については、事例発表会、説明会に参加し、活動に協力してきました。

政治活動の取組

衆議院選挙の結果により流動的な為総会において別途提案を行います。

平和運動への取組

(1) 戦後六〇年の節目をとらえて戦争を風化させない運動、行動す

る平和運動が、折り鶴を作ろうの声から広島市の平和祈念式典に捧げようとの行動に発展しました。その熱意は支部協も総力をあげて協力の体制でのぞむこととしました。NTT労組の先輩と広島県支部協の強力な支援と協力がありました。青春18切符とボランティアでの呼びかけに三〇名を越える参加の申し出があり、出発から広島県支部協との交流会まで成果のある行動として評価します。更に八月九日、長崎平和式典に参加し、折鶴を携え、平和の祈りを捧げました。

(2) 平和講演会、学習会に積極的に参加しました。具体的には一月に「ピースおおさか」にてモニュメント建設の説明会も兼ねた学習会、二月はベトナム帰還兵ネルソン氏の講演会、三月はベトナム枯れ葉剤被害の実態の講演会を学習しました。

(3) 二月の核兵器廃絶の署名活動に協力しました。

二〇〇五年度の具体的取組(案)

組織・地域ブロックの取組

各ブロックの特徴を生かした組織運営を目指します。ブロックは地域に軸足を置いた活動で実績をあげてきています。支部協も積極的に協力します。地域議員との交流を支援し、地域活動の一層の活性化をはかります。さらにブロック委員会が活動の原点になり、常に連携を図りながら組織運営に取り組めます。

会員拡大の取組

NTT労組大阪グループ連絡協議会の支援を得ながら通年的に取り組めます。グループ連絡協議会の中でも会員拡大の周知を行い、

グループ連絡協議会との連携 省略

캄パ活動について

(1) 中越地震、台風二三号の自然災害台風による大きな被害に募金協力の呼びかけを行い、短期間の運動でしたが、七七三名、一五二万三千五百の募金があり、新潟、京都、兵庫の各支部協に送金、支援連帯することができました。各支部協からはそれぞれ礼状の送付がありました。

(2) 平和運動の一つとして、「ピースおおさか」の大阪における戦災犠牲者を祈念する「モニュメント」の建設に全面的に協力しました。退職者の会大阪支部協は三〇五名、五九万円五千円の募金がありました。なお、「祈念モニュメント」は八月一日完成の式典が行われました。

魅力ある会を目指し、企業本部の在阪分会、部会の退職者に加勸奨活動を行います。

組織運営活性化の取組

NTT労組大阪総支部、大阪グループ連絡協議会との交流を密にし、意志疎通に遺漏のないよう努めます。事務処理の効率化を目指し、次ぎの取り組みを行います。

(1) 共済費、年会費の口座振替の取り組みについては、本年度から準備し、取り組めます。

(2) 定例の幹事会は月一回開催します。

(3) 週五日(月、金)の常駐体制は、各ブロックと事務局が曜日交代で担当します。共済切り替え等

の多忙時には、応援の協力を求めることにします。

(4) 事務局会議は幹事会に提案する議題等の検討を主に開催します。

(5) 三役会議は課題により必要の都度開催します。

(6) ブロック委員全体集会は年一回を目標にします。

(7) 各担当者会議の充実を図ります。

コミュニケーション 充実の取組

(1) 会報の発行
会報「摂河泉OB」は従来通り年六回発行します。会員交流の窓口としての位置付けを大事にし、内容の一層の充実を図ります。

(2) 訪問活動について
活動の実行方法、手段については、電話、アンケート等さらに対象者の選択も含めて検討することになります。会報手配りによる訪問は継続します。手配りの拡大については努力します。

(3) イベントについて
ブロックによる日帰りツアー、社会見学は引き続き企画、実施します。一泊旅行の支部協イベントも引き続き実施します。グラウンドゴルフ大会も検討します。

(4) ホームページについて
IT活動の一環として各ブロック担当者と協力しながら、支部協のホームページの充実を図ります。コラムなど内容も速報性を大切にします。

文化活動の取組

(1) 「いきいき講座」について
支部協の代表イベントとして内容の充実にも努め実施します。

(2) カルチャークラスについて
会員が楽しめる学習課題を選択し、実施します。

(3) サークル活動について
サークルの育成、発展を応援します。活動の内容周知も会報を利用して積極的に行います。地域の催し等の活動に参加も期待します。

(4) JASSSの活動について
JASSS活動を支援します。前年はグラウンドゴルフ、島之内寄席を応援しましたが、今年も運営に協力します。

(5) 余技作品会について
文化活動の成果、作品、特技の発表について検討します。

ウォークラリー月間の取組

五月の「健康ウォークラリー月間」は実施します。期間中のスタンプリーも予定します。

福祉活動の取組

(1) 「全電通社会福祉事業団」への「愛の 캄パ」を継続します。

(2) ボランティア活動については、学習を重ねながら恒常的に取り組みます。泉州ブロックの「愛の家」に対する活動を応援します。また河内ブロック支援のボランティア組織「みなみかわち」に協力します。

(3) 使用済み切手等々福祉に関わる物資の収集、캄パ活動は事務局に収集用のボックスを用意し引き続き行います。

地域活動について

(1) 組織内地域議員との交流について地域議員との交流は、学習会、活動報告会などを通して多く行なわれてきています。新しい政治体制も期待される時になりました。後援会組織にも参加します。

(2) 連合大阪高退会東大阪地協へ引き続き参画します。

(3) ブロックが地域活動を模索します。

生活改善の取組

(1) 退職者、高齢者の生活全般に関わる、年金・医療・介護など社会保障制度の充実改善に向けてNTT労組、連合高退会と連携して取り組みます。一一月の「医療制度の充実を求める」署名活動に協力します。

(2) 確定申告に伴う相談会を開催

します。

(3) 「生きがいワーカーズ」活動に理解を示し、参加に向けて可能な限り協力します。

政治活動の取組

(1) 郵政民営化法案の参議院否決が衆議院解散となり、第四回総選挙が実施されました。その間に福祉に関わるものも含め多くの法案が廃案、未了となっています。この機会を改革の時としてとらえ活動を強めます。社会保障制度の充実を重点とする政治・体制づくりを支援します。NTT労組大阪総支部とグループ連絡協議会に協力し、現・退一致の取り組みを進めます。

(2) 政治団体「アピール21」の趣旨等について理解を強める努力をします。

(3) 四月に予定されている地方選挙に河内長野市議会、柳田吉範議員を推薦、支援します。

平和運動への取組

(1) 折り鶴運動は引き続き取り組みます。さらに広島県支部協との相互協力を大切にします。また戦争の悲惨さ愚かさ、被爆の惨禍を語り継ぎ風化させないためにも、情報労連が進める平和運動に協力し取り組みを進めます。

(2) 連合高退会の進める恒久平和、核廃絶等の運動に協力します。

(3) 平和学習会など地道な活動を継続、発展させていきます。

グループ連絡協議会との連携 省略

二〇〇五年度予算(案)

総会当日提案します。

海を臨む露天風呂と海鮮料理
11月17日(木) 雨天決行

集合場所 JR環状線大阪城公園改札出口
集合時間 午前10時(集合・出発) 時間厳守
定 員 50名(先着順)
参加費 会 員：6,000円
会 員 外：7,000円
申込締切 10月20日午後4時までに
支部協へ ☎06-6451-8100
参加者には別途案内書と参加費振込み用紙をお送りします。
なにわブロックがお世話します。



グランドゴルフ福井・芝政一泊コンペ(募集)
11月15日(火)~16日(水)

用 費 21,000円 一泊4食 賞品 土産付
主催 「楽遊会」支部協グランドゴルフサークル
参加費 各自持参のこと
定 員 40名(先着順)
申込締切 10月14日午後4時までに 大阪支部協 ☎06-6451-8100
内 容 2日間6ラウンドストロークプレー
芝政ゴルフ場と花夢生の丘ゴルフ場
宿泊先は芦原温泉予定カラオケあり
出 発 地 ①南海岸和田駅 07:20 ②JR大阪城公園 08:20
グランドゴルフサークルがお世話します。

紅葉の箕面散策ハイキング
11月16日(水) 10:00

場 所 阪急 箕面駅前(時間厳守)
阪急梅田9:20発(急行)~石橋9:36着
石橋9:41発~箕面9:47着
千里中央(阪急バス)①番のりば9:32発~箕面9:48着
持参する物 弁当・水筒・雨具・歩きやすい靴・タオル・保険証写し等
申込締切 11月8日(火) 午後4時までに支部協へ
☎06-6451-8100
当日午前7時の降水確率40%以上中止
当日緊急連絡先 松本 ☎090-5091-8814
橋本 ☎090-5640-8780
北摂ブロックがお世話します。

紅葉の鞍馬・貴船ハイキング
11月11日(金) 10:00

集合場所 鞍馬駅改札口前10時集合(京阪電車出町柳駅乗り換え、叡山電車鞍馬駅)
鞍馬まで90分(特急)淀屋橋8:20京橋8:26/(特急)淀屋橋8:30京橋8:36
*キップは、京阪電鉄のお得な「鞍馬・貴船1dayチケット」
(駅事務室・改札口)でお買い求め下さい。
持参する物 弁当・飲み物・雨具・靴物・保険証写し等
歩きやすい服装・靴で参加してください
申込締切 11月8日(火) 午後4時までに支部協へ ☎06-6451-8100
当日午前7時の降水確率40%以上中止
中止等の連絡先 今井 ☎090-3056-3162 武田 ☎090-5364-2280
コース 鞍馬駅→仁王門→義経公供養塔→牛若丸息継ぎの水→
貴船神社→貴船口駅
河内ブロックがお世話します。 約100分

第53回ノース・リバー会ゴルフコンペ再試合のご案内

1. 開催日 2005年10月27日(木) am7:30集合
2. 場 所 太平洋クラブ宝塚コース ☎0797-91-1001
3. スタート am8:28
4. 参加費 3,000円(当日徴収)
5. プレー費 13,000円(カート・キャディー・昼食付)各自支払い
6. 申込メ切 2005年10月14日(金)
pm4:00までに支部協へ(先着40名)

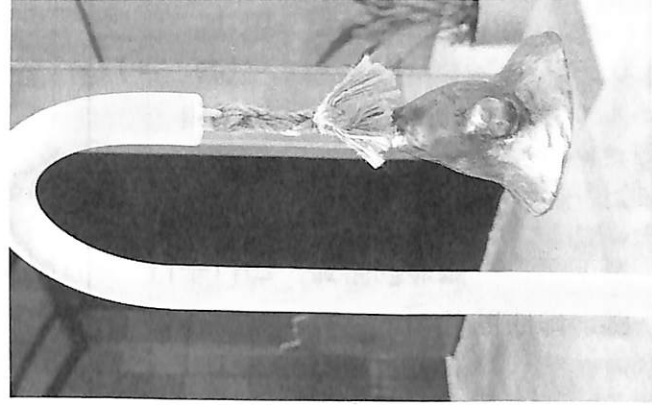
第54回ノース・リバー会忘年コンペ(総会あり)のご案内

1. 開催日 2005年12月5日(月) am8:00集合
2. 場 所 枚方国際ゴルフ倶楽部 ☎072-858-8311
枚方市津田4546
3. 宿泊場所 ウェルサンピア京都 ☎0774-62-3500
京都府田辺市多々羅西平川原39-16
4. スタート am9:03(アウト・イン同時スタート)
5. 参加費 ①プレーのみ(4,000円)
②プレー、総会、懇親会(11,000円)
③総会、懇親会(8,000円)
④総会、懇親会、宿泊(12,000円)
⑤プレー、総会、懇親会、宿泊(15,000円)
6. プレー費 13,945円(カート・キャディー・昼食付)各自支払い
7. 申込メ切 2005年10月31日(月)
pm4:00までに支部協へ(先着40名)

「ピースおおさか」
平和を願う
モニュメント完成

2月に「ピースおおさか」の平和を願うモニュメント建設のカンパ(カンパ額は先に報告のとおり305名、595,000円)をお願いしましたが、8月14日に完成の式典が行われました。

機会があれば「ピースおおさか」(JR環状線森ノ宮下車)を一度訪れてください。



第15回 囲碁大会

11月25日(金) 午前10時開始

場 所 コミュニティープラザ大阪5階 退職者談話室
参加費 1,000円(昼食含む)
申込メ切 11月11日(金) 16時までに電話またはハガキで
氏名・電話番号・段級位を支部協まで
お申込み下さい。(☎06-6451-8100)
ハガキ送付先 〒553-0003 大阪市福島区福島3-1-73
コミュニティプラザ大阪2階
N T T 労組退職者の会大阪支部協議会

大阪総支部日より

大阪総支部第4回定期大会より

N T T 労組 大阪総支部 副執行委員長 川本 正
大阪総支部第四回定期大会は、八月一〇日に開催されました。大会二日前に一六二通常国会で「郵政民営化法案」は、八月八日(月)の参議院本会議で採決が行われ、自民党から二二名の造反議員、欠席・棄権八名で、賛成一〇八票、反対一二五票の大差で否決された。この結果、小泉首相は衆議院解散を表明。衆議院は、八月一三日の会期末を待たずに解散、八月三〇日(火)公示・九月一日(日)投票で衆議院総選挙が行われることとなりました。
冒頭、委員長あいさつで特に政治に対する課題で、今回の衆議院解散を受けて「政権交代のチャンス」との認識で、全推薦候補者の必勝に向け邁進していく。その為には、全組合員の協力をお願いします。

大阪総支部第四回定期大会は、八月一〇日に開催されました。大会二日前に一六二通常国会で「郵政民営化法案」は、八月八日(月)の参議院本会議で採決が行われ、自民党から二二名の造反議員、欠席・棄権八名で、賛成一〇八票、反対一二五票の大差で否決された。この結果、小泉首相は衆議院解散を表明。衆議院は、八月一三日の会期末を待たずに解散、八月三〇日(火)公示・九月一日(日)投票で衆議院総選挙が行われることとなりました。
冒頭、委員長あいさつで特に政治に対する課題で、今回の衆議院解散を受けて「政権交代のチャンス」との認識で、全推薦候補者の必勝に向け邁進していく。その為には、全組合員の協力をお願いします。

その他、私たちを取り巻く事業動向等について、組織強化の課題について、平和に対する課題等ポイントを絞ったあいさつを行った。各種報告・提案では活発な論議が行われ二〇〇五年度の活動方針を満場一致決定した。続いて「世界中の貧困撲滅を求めるアピール」が採択され最後、山田委員長「団結ガンバろう」三唱し終了した。

第四四回総選挙の取り組みの結果については、与党が三二〇議席を獲得し、民主党は大きく議席を下回りました。準組織内候補「ひだ美代子」君においても、極めて厳しい選挙結果となりました。退職者の会の皆様・北摂ブロックの皆様のご支援・ご協力に対しまして、敬意と感謝を表します。今後とも大阪総支部へのご支援をお願いします。

河内ブロック

◆懇親会のお知らせ

日頃は退職者の会にご支援いただきましてありがとうございます。
今年も職場の仲間、地域の皆さんと顔を合わせ同窓会気分懇親会を開催します。多数のご参加をお待ちしております。

今回は参加・不参加の返信ハガキを「摂河泉OB」9月発行に同封してあります。もし「返信ハガキ」の漏れがありましたら直接大阪支部協へ申し込みください。

電話：06-6451-8100へ

【日時】11月5日(土)午前11時30分より(11時より受付)

【場所】コミュニティプラザ大阪 3Fホール (旧江川寮)

【会費】3,000円(当日徴収します)

注：当日は「ビンゴゲーム」を用意しております

◆ボランティア「みなみかわち」総会

第2回総会が旧富田林局一階事務所で開催され、支部協より鷺谷会長、小林事務局長、田伏副会長、河内長野市より柳田市会議員が参加され盛大に行われました。今後の取り組み等についての問題点、運営のあり方などが討議され、役員についても全員留任することで満場一致承認されました。河内ブロックとしても今後とも支援しますので一段の協力方よろしくお願い致します。

◆新ブロック委員を紹介します

・落合 光雄さん
・篠本美智子さん

▶写真はボランティア

「みなみかわち」総会模様

北摂ブロック

懇親会開催のお知らせ

開催日 2005年10月29日(土)

時間 12時30分開催(12時から受付)

場所 コミュニティプラザ大阪(旧江川寮) 6階鶴亀の間

会費 3,000円(当日受付の時徴収します)

ご案内 往復ハガキにてご案内致します

締切り 2005年10月14日までに返信願います

「平成淀川花火見物記」

有方 正明

平成淀川花火をコンボの窓から見物するとの企画に早速申込み、この花火大会は17回を迎え、退職前1年半ほど淀川支店にお世話になりましたが一度も見ることが出来なかったこの日が来るのを楽しみにしていました。

当日、6時30分に総勢50数人がコンボ5階に集い打ち上げが今や遅しと待ちました、それまでを「おいしい料理」と「つめたいビールと地酒」を戴きながら「あのビルとビルの間から花火が見えるはず」との説明に期待しつつ待つこと暫し、7時50分頃から打ち上げ開始...スターマインが絶え間なく打ち上げられること2万発夜空いっぱいに広がり息をのむほどの美しさ、花火の醍醐味を満喫しました。

9時頃花火と酒に酔いながら帰路につきました。お世話戴いたみなさんに感謝、感謝……。

退職者共済
更新の

お知らせ

火災共済・自然災害共済・交

通災害共済の契約証書は11

月頃に会員手帳と一緒に送付

されます。

泉州ブロック

みなさんの「平和の折鶴」ヒロシマへとどけました！



みなさんからお預かりしてしました沢山の「平和の折鶴」を、ヒロシマの原爆の子の像に捧げてきました。わたしたちボランティアの一歩も、現地で被爆証言を聞き、学習をしてきました。折り鶴運動は今から始まります、これからより多くの人々に折ってもらうところに最大の意義があります。ホームページをみて東京八王子市立館小学校3年生のみなさん他、退職者の会会員さんからも送っていただきました。今回は、折っていただいた折り鶴の何羽かに「平和のメッセージと名前を記入」して郵送をお願いしたいと思います。

送付先：〒590-0503 泉南市新家725-267 廣道襄まで

○懇親パーティー開きます。談笑しに来て下さい○

- ・会場でヒロシマ・ナガサキ写真展同時開催
- ・愛の家作品の即時販売にもご協力をお願いします。
- ・10月15日(土)NTT堺ビルにて13時より
案内ハガキ発送しています。「返信」をいただけましたでしょうか。

◆泉州ブロックホームページ

<http://www.13.ocn.ne.jp/~sensyuob/>

【泉州の絵日記】欄にヒロシマの記事を掲載しています

なにわブロック

◆白神山地と八甲田八幡平ハイキングツアーに参加して◆

なにわブロック 古布 充

7月21日から2泊3日で「白神山地と八甲田・八幡平ハイキングツアー」に古くの山友達の侯野隆三さん(会員)と一緒に参加しました。伊丹空港を午前8時5分に出発、浅間山の噴煙を眺めながら約1時間であっという間に仙台空港に到着。そこから観光バスで八幡平に向かいました。

標高1,613mの八幡平の頂上は残念ながら曇天。しかし、そこには短い夏を力強く咲き誇る高山植物が私たちを迎えてくれました。八幡沼周辺の池・湿原を約60分間、観光協会インストラクターの説明を聞きながら「植物観察と花めぐり」をしました。

シラカバ、ダテカンバ、ワタスゲ、ニッコウキスゲ、コバイケイソウ、ハクサンチドリ、シラネアオイ等々40～50種類の説明をうけ、その中で特に印象深かったのは「熊の冬眠」でした、熊は冬眠中は糞止めをして洞穴の中を清潔に保ち、冬眠から覚めると同時に毒草を食べ、下痢で糞を出してから消化の良い山菜(ゴゴミ、リョウブ等の新芽)を食べるそうです。人間が病氣回復時おゆ・おかゆと病人食から始めるのと同じで、本能的でしょうか熊の習性には感動しました。今回のツアーのメーメンは「世界遺産白神山地」のブナ原生林でこれには圧倒されました。ブナ林は保水力がすばらしく森林・自然環境を守る原点になるのではないのでしょうか、地球温暖化を救うためにも、ブナ林の保存を大切にしなければと考えさせられるツアーでした。自然環境を守るには「もったいない」の気持ちを持ち続けることだと思います。

大阪支部協議会の動き

(八 月)

五 四 日 パソコン教室
六 日 広島平和ツアー
八 六 日 淀川花火を見る会
九 日 長崎平和ツアー
十 八 日 北摂ブロック委員会
十一 日 いきいき講座
十二 日 パソコン教室
十六 日 なにわブロック委員会
十八 日 編集委員会
二十二 日 政治・平和担当者会議
二十五 日 事務局会議
二十九 日 支部協幹事会
三十 日 三役会議
近畿高退会総会

(九 月)

六 日 編集委員会
八 日 いきいき講座
九 日 なにわブロック委員会
十二 日 編集委員会
十三 日 岸和田だんじり見学
十五 日 連合高退会全国集会
十六 日 パソコン教室
北摂ブロック委員会
河内ブロック委員会
十七 日 J A S S 島之内寄席
二十 日 編集委員会
二十一 日 中央協総会(仙台)